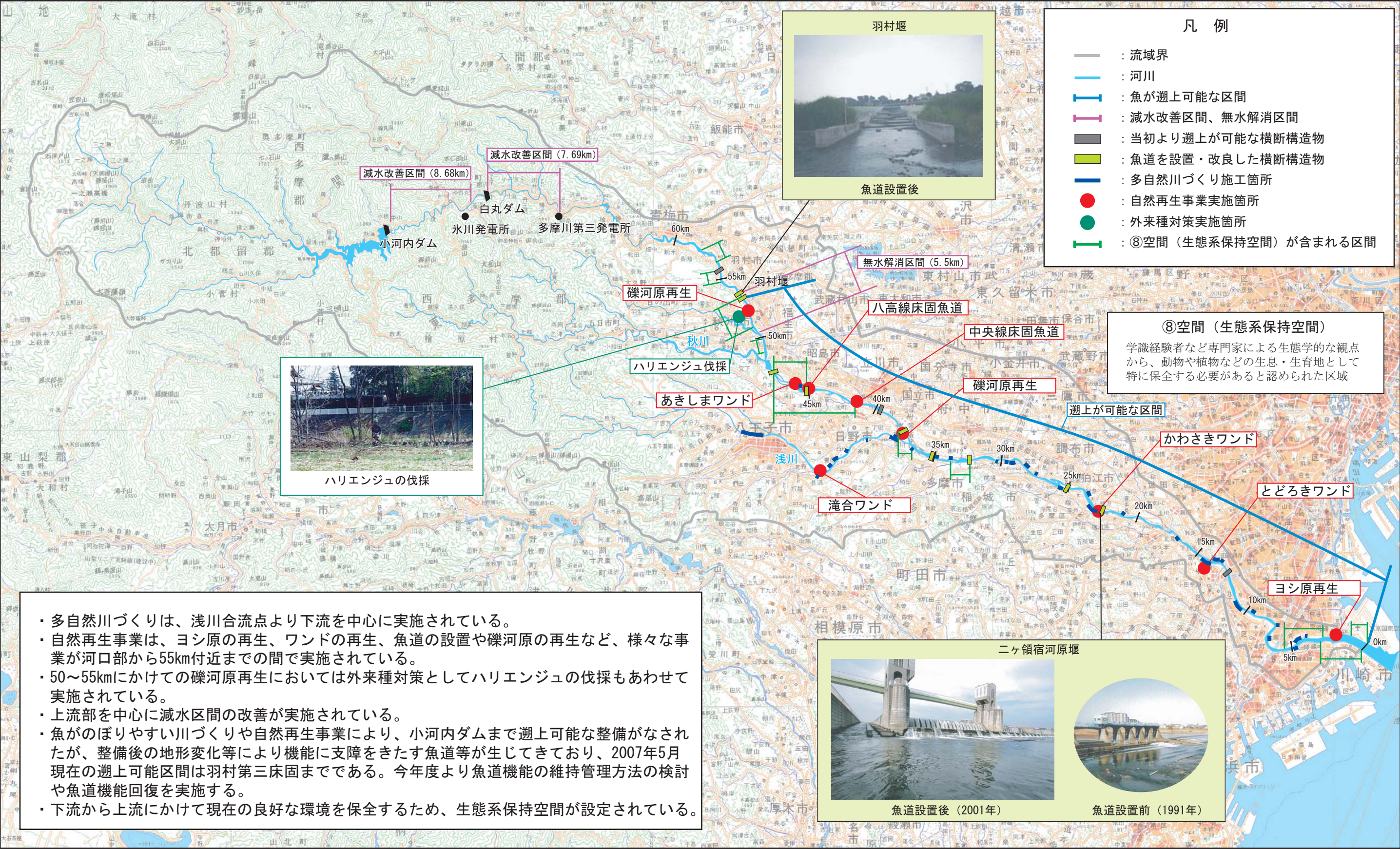




<代表流域 1> 多摩川における個別施策の実施状況



- ・多自然川づくりは100kmより下流で多く実施されている。
- ・90km～100km間では礫河原再生を目的とした自然再生事業と、外来種対策があわせて実施されている。
- ・15km付近では堤防のり面に繁茂したアレチウリに対して表土の打ち替えを実施している。
- ・川俣ダムでは、弾力的管理により流況が改善されている。
- ・上流部及びダム下流においては、減水区間の改善がなされている。
- ・魚道の設置、改良等により遡上が可能な区間が延びており、アユ・サケが構造物の遡上に要する時間が短縮している。

